まちづくりにあなたの声を 京田辺市eモニター たなモニ

平成 29 年 11 月 28 日

アンケート集計結果【平成 29 年度第 3 回】

今回のテーマは「献血」でした。

市では、病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い命を救う献血について理解を深めるため、献血事業を行っています。今後の事業の参考とするため、アンケートを行いました。

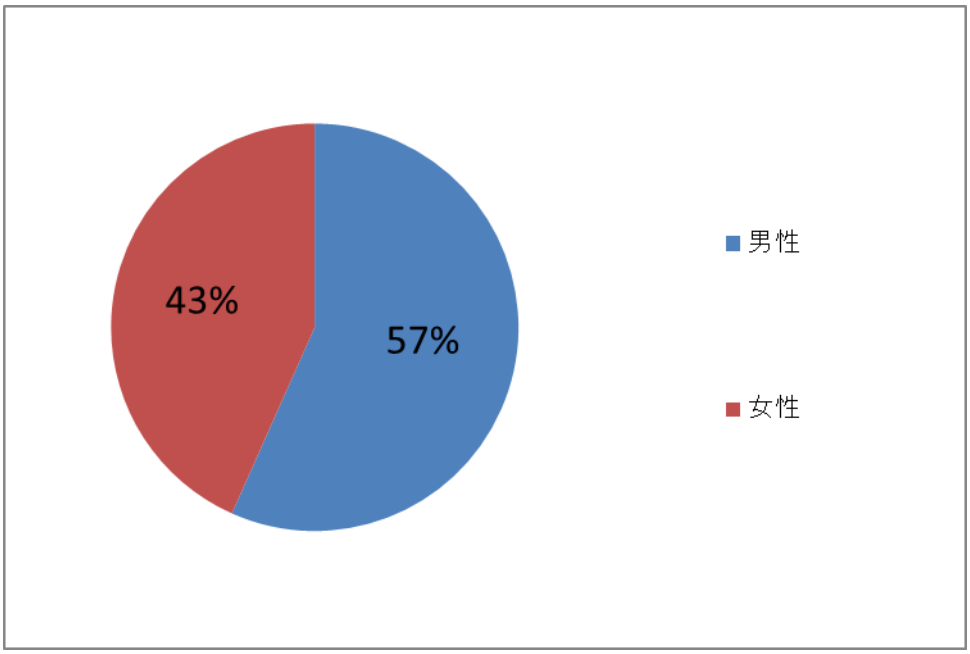
◆たなモニ登録者数　185 人
◆アンケート実施期間　平成 29 年 10 月 31 日(火)～11 月 17 日(金)
◆回答者数(回答率)　30 人(16.2%)
◆担当課　健康推進課（電話　0774-64-1335）

1. アンケート結果

※各設問の N は、設問に対する有効回答者数を意味します。
※割合(%)は小数第 2 位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答は合計が 100%にならない場合があります。
※複数回答の設問は、割合の合計が 100%を超える場合があります。これは、回答総数ではなく、有効回答者数を分母としているためです。
※本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、語句を簡略化し表示しています。

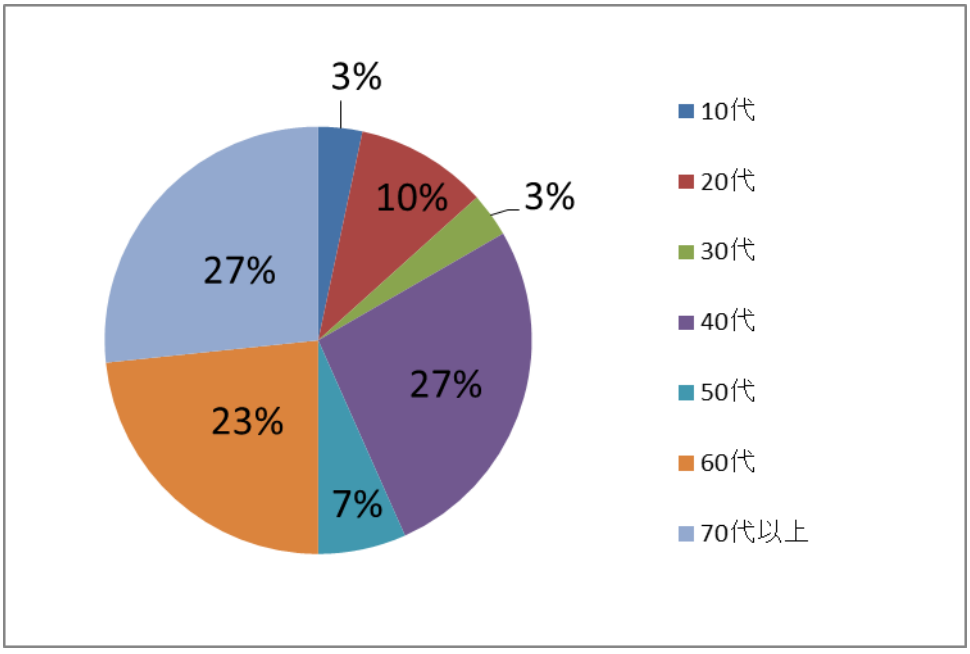
問1　あなたの性別を教えてください。

[択一選択・N=30]



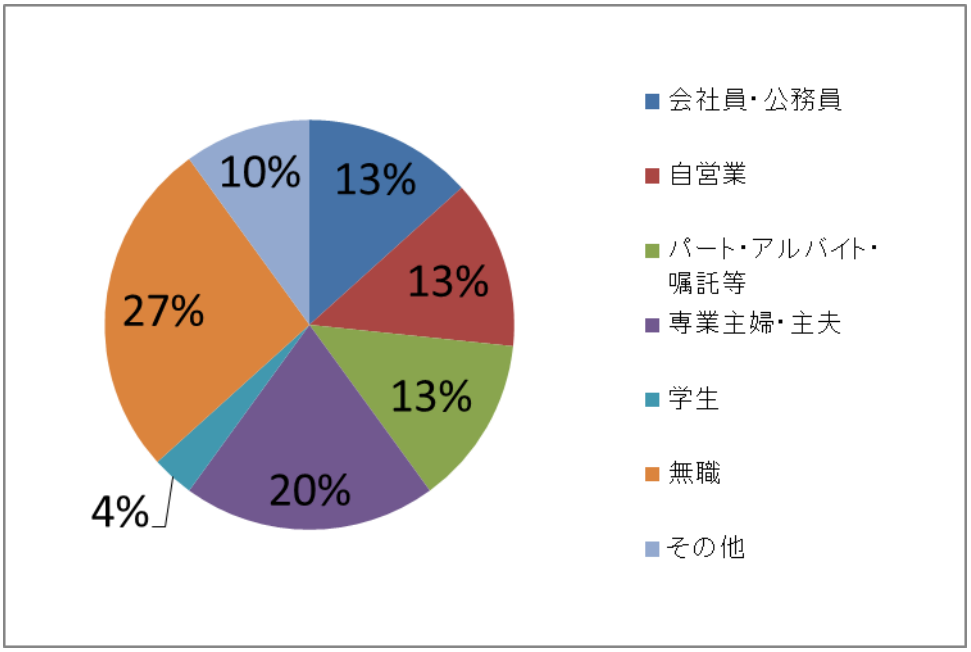
問2　あなたの年齢を教えてください。

[択一選択・N=30]



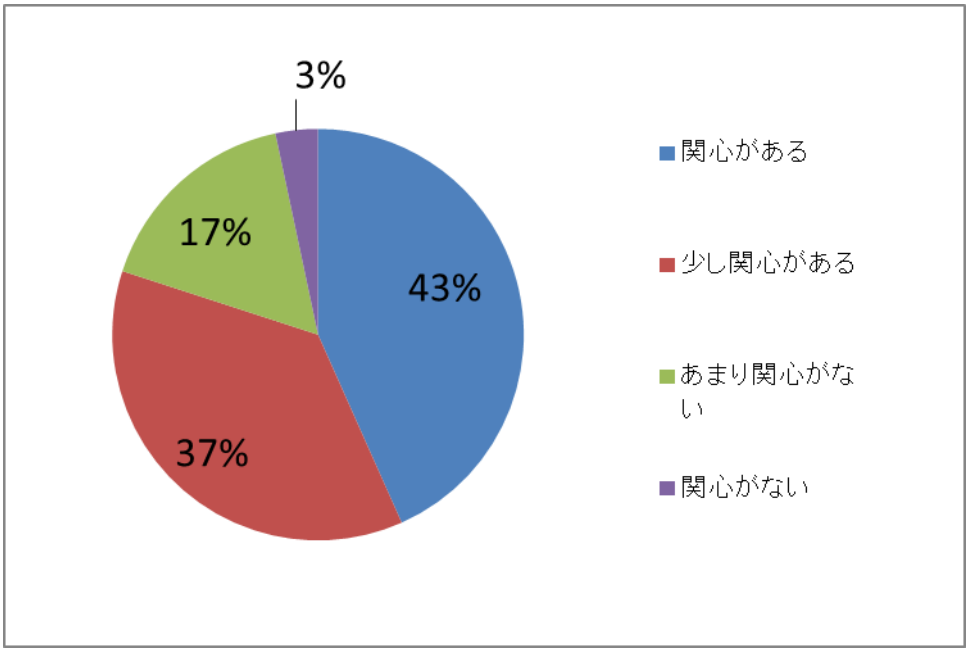
問3　あなたの職業について教えてください。

［択一選択・N=30］



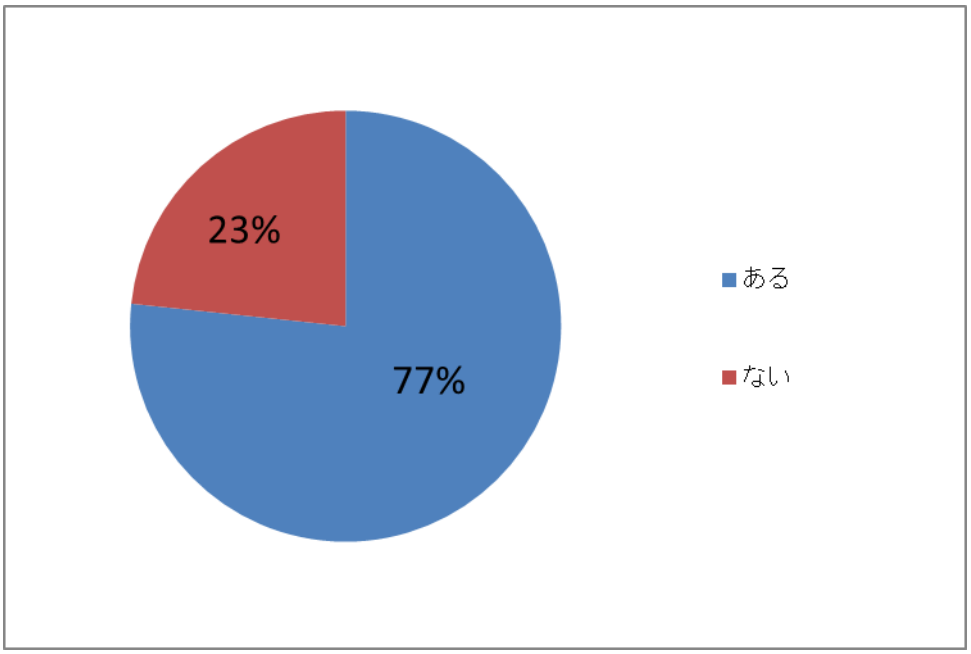
問4　献血について関心がありますか。

［択一選択・N=30］



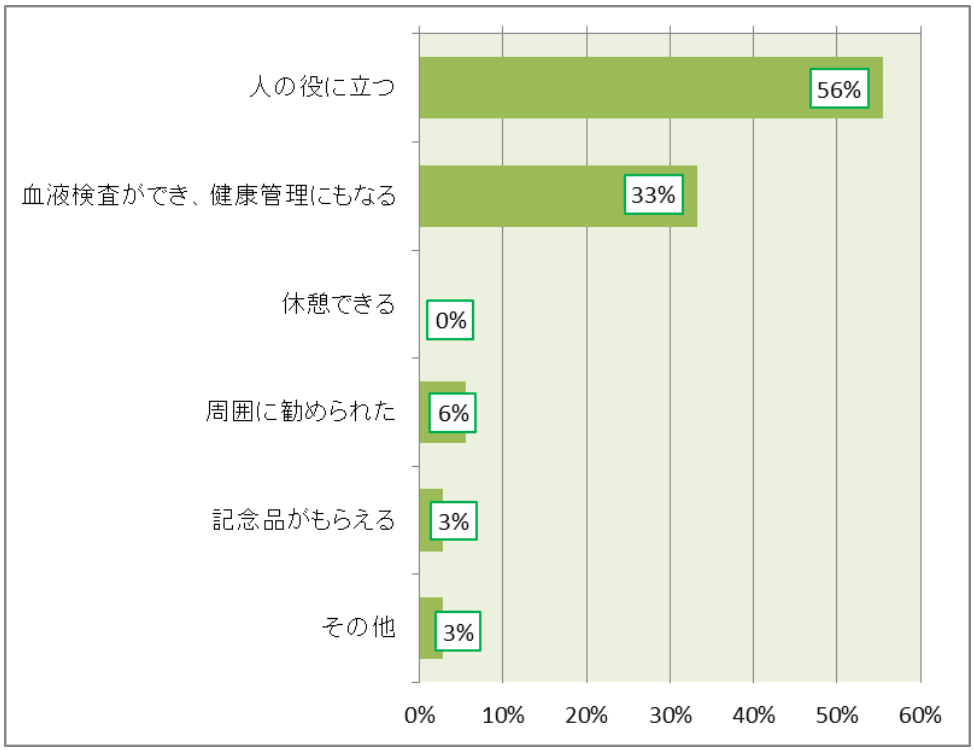
問5　献血をしたことがありますか？

［択一選択・N=30］



問6　問5で「ある」と回答された方にお伺いします。献血をした理由を教えてください。

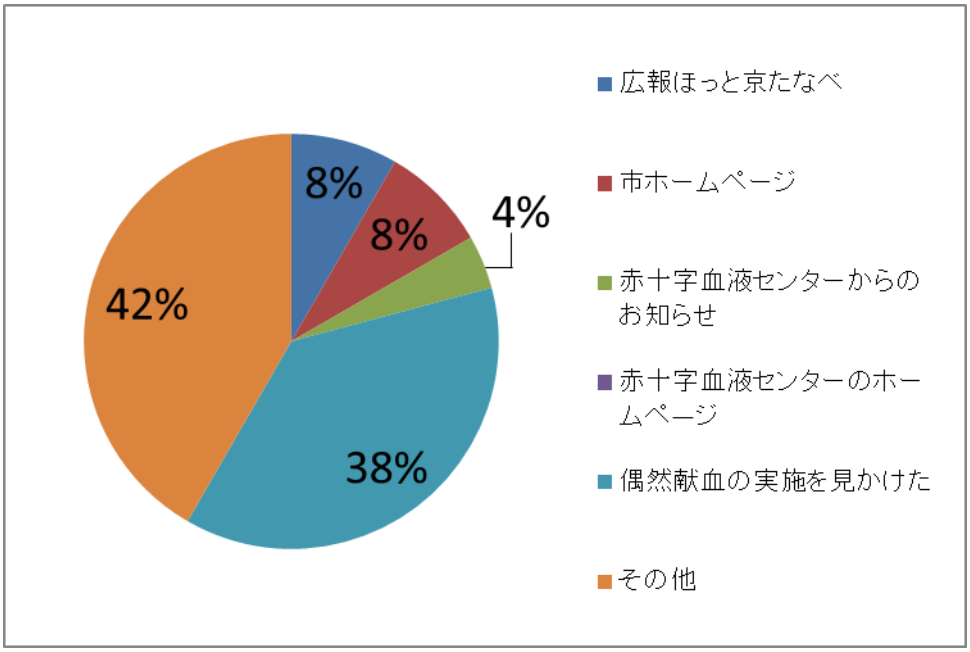
［複数選択・N＝36］



「休憩できる」の回答はありませんでした。

問7　問5で「ある」と回答された方にお伺いします。献血の実施をどのように知りましたか。

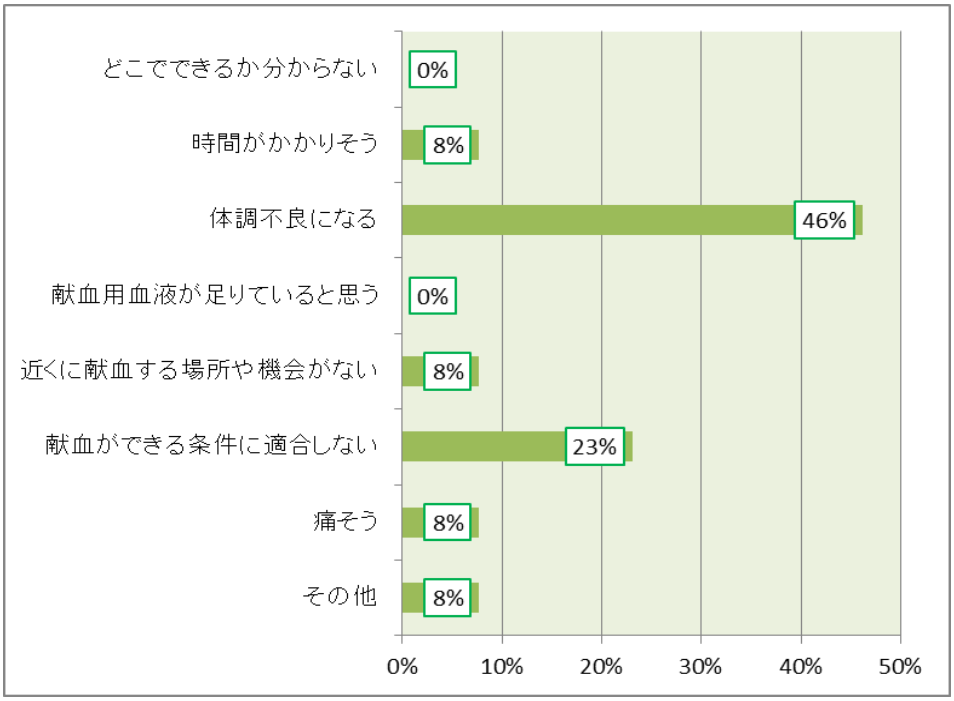
[択一選択・N=24]



「赤十字血液センターのホームページ」の回答はありませんでした。

問8　問5で「ない」と回答された方にお伺いします。輸血をしたことがない理由を教えてください。

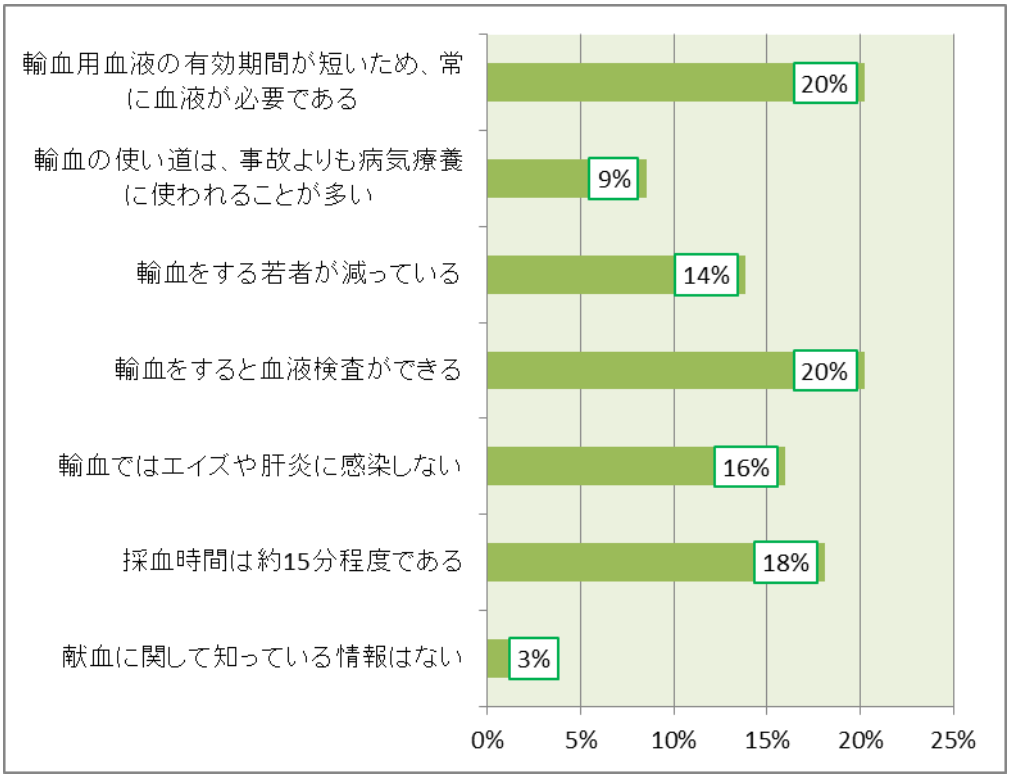
[複数選択・N=13]



「どこでできるか分からない」「献血用血液が足りていると思う」の回答はありませんでした。

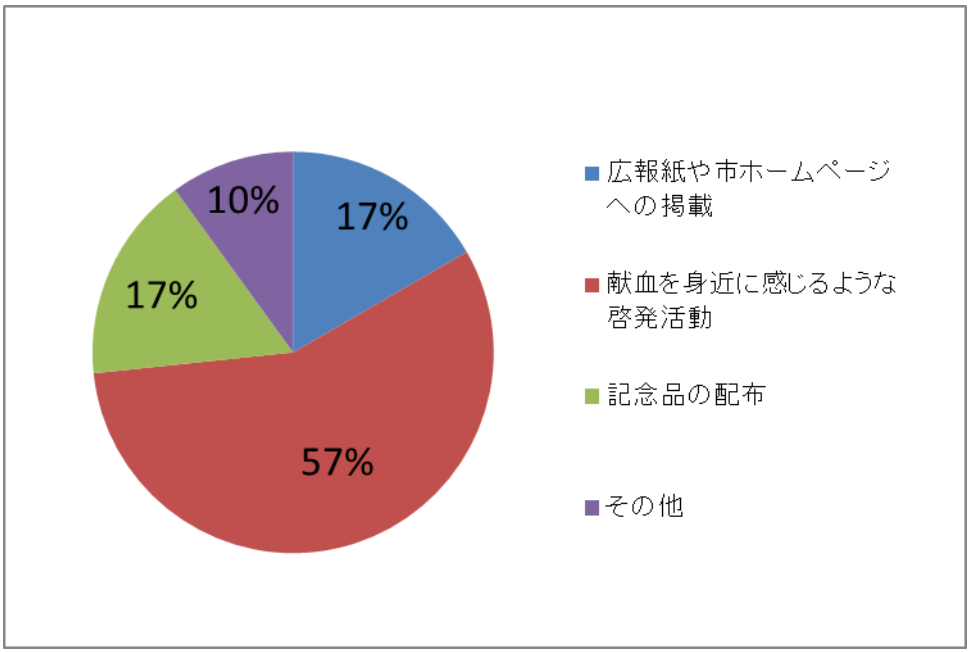
問9　献血に関して知っていることを教えてください。

[複数選択・N=94]



問10　献血者数を増やすために力を入れた方がよいと思う取り組みを教えてください。

[複数選択・N=30]



問11　その他、市の献血に関する事業についてご意見があればご記入ください。

［自由記入］

・	特にありません。
・	市の色々な企画に献血車両が積極的に来る、そして呼び込む。 小学校教育で献血の大切さを伝える。
・	特になし。
・	献血すると、ちょっとお得なことがあるなど、何か引かれる要素があれば、多くの人がすると思う。
・	往時は献血を積極的にしたが、年齢的に不可能になり、残念。
・	駅ですれば良いのでは？
・	平日には行くことが難しいので休日のタイミングが合う時に献血している。
・	私は、わざわざ献血に行くという事は　つい面倒になって実行しないと思います。時間もあるし、献血現場に出くわしたし寄って行こうかな？という気持ちです。献血がもっと身近で、気楽に出来ればいいかなと思います。
・	小中高の教育の中で知らしめ、本人が対応可能年齢になったら献血を行うように導くとともに、家族や周囲に啓蒙させる。
・	献血の重要さを、啓発活動されたら良いと思います。
・	高齢者でも元気な人の献血は認めるべきです。 また、過去10回くらい献血していたが、1980年代から1990年代に英国に出張が何度かあった、一日でも英国にいたら狂牛病の恐れがあると献血できなくなった、納得できなかったがそれ以降献血はやめた。帰国して何年かすぎていれば認めるべきだったのではないか？
・	献血の必要性について地道に啓発活動を行うとともに、機会あるごとに（各種イベント等）を通じて積極的な広報啓発を行っていくことも大事かと。
・	大阪の「木づかい倶楽部」というNPO法人のFacebook9月27日に献血促進のための新しい試みをされ、献血者を増やされているようです。 一度、Facebookをご覧頂き、ご検討されてはいかがでしょうか。 https://www.facebook.com/kidukaiclub/
・	繁華街、人の集まる所、スーパー等の目につきやす場所に、ポスター、のぼり等の

	広報活動をもっと推進すべきである。
・	病院やスーパーに献血車が回る。献血センターは大手筋まで行かないとないので、京都府南部にも作る。設備上難しいかもしれないけど。
・	1 年間の予定表を発表する。
・	献血は、名古屋でもやってました。
・	献血した血液がどのように役立てられているかがよくわかりません。献血後の血液の有効活用事例をもっとたくさんPRしてください。

たくさんのご意見をありがとうございました。

【担当課からのコメント】

　たなモニのみなさん、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

　お答えいただいたアンケートは、今後の献血に関する事業の推進に向けた参考にさせていただきます。